

H29年度「元気アップいばらき！健康づくりキャンペーン」参加報告



平成 29 年 9 月 9 日（土）イオンモール水戸内原 1 階 メインコートにて、茨城県保健予防課が主催します、「元気アップいばらき！健康づくりキャンペーン」が開催されました。茨城県では、心疾患や脳卒中などの循環器疾患や糖尿病といった生活習慣病による死亡率が高いことから、9 月を「循環器疾患予防月間」と定め、生活習慣病の予防に関する普及啓発を図っています。このイベントは、県民一人ひとりに、「自らの健康は自らがつくる」との意識を持っていただき、食生活の改善や運動習慣の定着など、健康づくりに取り組んでいただくことを目標とし、健康寿命の延伸、生活の質の向上、社会環境の質の向上の達成をめざしています。今回のテーマは、生活習慣病予防のために、1 に運動、2 に食事、しっかり禁煙、最後にクスリ、～健康な身体は最高の財産です～県民の健康づくりを支援するため、行政のほか、学校、職場、地域ボランティア団体、保険医療機関、健康づくり関係団体などが、様々な施策を展開しています。わたしたち茨城県臨床工学技士会もその一員として、他のコメディカル団体とともに参加してきました。

当会においては、体液成分測定装置の体験をしてもらい、人工呼吸器の展示説明を理事ならびに i-SIT 委員メンバーで実施しました。また、臨床工学技士という職種を広く知ってもらうため、私たちの仕事内容をわかりやすく説明した資料を作成し、マスコットキャラクターシープリンを描いたポケットティッシュと一緒に配布しました。また、いのちのエンジニアの DVD を放映して臨床工学技士会の仕事内容を紹介しました。沢山の県民が会場を訪れ、当会ブースにも多くの方が立ち寄ってくださり、100 人の体組成を測定しました。実際の測定結果からたくさんの質問を頂き、また結果はプリントし持ち帰れる事からご好評頂きました。展示コーナーにおいても、普段目にする事のない医療機器に興味を持たれていました。また、臨床工学技士の仕事内容についての説明を熱心に聞いていた学生や将来の職業、進路を考える子供を持つ親御さんからも質問や相談をもらいました。

今後も公益事業の一つとして、健康で明るく元気に暮らせる社会の実現のお手伝いと、臨床工学技士の知名度向上のため、活動を続けていきます。

担当 山中祐治